

令和5年度 岩手県立久慈工業高等学校経営計画

校長：水野 扶佐史

1 現状把握及び将来展望	(1)学校に対するニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望の実現 基礎学力の向上 わかる授業の展開 資格取得 特別活動の充実 生徒理解 	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望の実現 学校からの適確な情報提供 基本的な生活習慣 生徒の活躍 安全安心な学校 	<ul style="list-style-type: none"> 開かれた学校 生徒の活躍 地域の復興発展への寄与 服装・挨拶マナーの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい職業観や勤労観 社会人基礎力 確かな基礎学力 生徒会・部活動の充実
	(2)パートナーとの関係	<ul style="list-style-type: none"> 自主的な教育活動への参加 教育活動の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動への協力 教育活動の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動への協力 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育を通じた連携 地域との連携・協力
	(3)学校に影響を与える変化	<input type="checkbox"/> 少子化に伴う生徒数の減少 <input type="checkbox"/> 多様化する生徒への対応と対策 <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症	<input type="checkbox"/> 県立高等学校再編計画、後期計画の進行 <input type="checkbox"/> 情報モラル教育の必要性 <input type="checkbox"/> 東日本大震災津波からの復興		
2 校訓・教育目標	(1) 目指す学校像 「生徒の輝く姿が見える楽しい学校」 (2) 校 訓 「敬愛礼節 協調団結 技術錬磨 積極実践 至誠責任」 (3) 教 育 目 標 ア 能力、適性を伸張し、主体的に行動する人間の育成 イ 技術、技能を尊重し、勤労を貴ぶ人間の育成 ウ 豊かな教養を育み、創造力豊かな人間の育成 エ 心身ともに健康で、自他を敬愛する人間の育成				
3 目指す学校像	(1)今年度の重点目標	重点目標		達成指標	
		ア わかる授業の実践と授業と連動した課題を通して生徒個々の学力向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> 「わかりやすい授業である」と答えた生徒の割合【85%以上】 定期考査前の家庭学習が1時間以上である生徒の割合【70%以上】 		
		イ 基本的な生活習慣の確立を図り、生徒一人一人が活躍する場を作る	<ul style="list-style-type: none"> 皆勤・精勤率【70%以上】 「自分にはよいところがある」と答えた生徒の割合【70%以上】 		
		ウ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止	<ul style="list-style-type: none"> 「学校生活が楽しい」と答えた生徒の割合【90%以上】 		
		エ キャリア教育を推進し、資格取得と生徒全員の進路希望の達成を目指す	<ul style="list-style-type: none"> 希望する進路目標を達成した生徒の割合【100%】 一人2資格以上の取得【70%以上】 		
		オ 地域社会への参加と、保護者、中学生、地域への情報発信に努める	<ul style="list-style-type: none"> PTA総会出席率【30%以上】 校報「久慈工魂」の発行【月2回】 		
		カ 安全安心な教育環境の整備と地域と連携した復興教育を推進する	<ul style="list-style-type: none"> 学校事故等の発生率【1%以内】 防災訓練、防災教育の実施【2回】 5Sの励行 		
		キ 教職員一人一人が誇りと使命感に溢れ、常に自己研鑽に励む風通しのよい職場を作る	<ul style="list-style-type: none"> 互見授業の参加率【100%】 教職員の無事故無違反【90%以上】 		

3 目 指 す 学 校 像	(2) 取組方針	ア わかる授業の実践と授業と連動した課題を通して生徒個々の学力向上を図る。 (7) 授業改善の推進のために、互見授業を取り入れた授業力向上週間を計画的に実施し、参加率 100% を目指す。 (1) 授業アンケートを定期的に行い、自己評価及び授業力向上に取り組む。T Tを計画的に取り入れ、生徒のつまずきに素早く対応し、理解力の向上に取り組む。 (ウ) 教科に関わる資格取得を奨励し、課外指導等を実施しながら、学習意欲を高める。
		イ 基本的な生活習慣の確立を図り、生徒一人一人が活躍する場を作る。 (7) 巡回指導、整容指導、集会時の規律、公共物愛護、挨拶の励行、携帯電話の適正利用、貴重品管理、いじめ防止等について継続的に指導する。 (1) 特別活動の充実のために、生徒会を中心に校外の清掃活動、行事に積極的に取り組ませるとともに、ボランティア活動へも積極的な参加を促す。 (ウ) 基礎力確認調査の意識調査において、「自分にはよいところがある」と答えた生徒の割合 70%以上 を目指す。
		ウ 早期発見と解消に向けた適切な対処 (7) いじめ防止対策推進法の理解と、法に則った対処を行う。 (1) 「いじめの未然防止や早期発見にかかわる取組を行っている」と答えた生徒・保護者の割合 85%以上 を目指す。
		エ キャリア教育を推進し、資格取得と生徒全員の進路希望の達成を目指す。 (7) 3年間を見通した進路指導計画を策定し、組織的に進路指導を実施する。 (1) 2年生全員にインターンシップ実施し、勤労観・職業観を育成する。 (ウ) ジュニアマイスター顕彰制度を推奨し、計画的な資格取得を促す。
		オ 地域社会への参加と、保護者、中学生、地域への情報発信に努める。 (7) 地域清掃の実施と専門技術を生かした地域貢献の実施を計画的に進める。 (1) 校報を作成し、地域に発信することで学校に対する理解を深めてもらう取り組みを行う。 (ウ) 「高校の魅力化促進事業」を活用し、地域理解の学習活動を進めるとともに出前授業など小中学生の本校に対する理解、進学意識の醸成を図る。
		カ 安全安心な教育環境の整備と地域と連携した復興教育を推進する。 (7) 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の励行と事故のない実習に努める。 (1) 学校の特色を生かしながら、地域と連携し「いわての復興教育」の推進を図る。
		キ 教職員一人一人が誇りと使命感に溢れ、常に自己研鑽に励む風通しのよい職場を作る。 (7) 校内研修会を計画的に実施する。 (1) コンプライアンスの定期的な取組を通して、教育公務員としてのサービスの醸成を図る。